平成19年度林業研究部の研究評価

林業研究部試験研究評価実施要領に基づき、平成 19 年度に実施した林業研究部試験研究評価委員会の主な内容は次のとおりでした。

委員

・社団法人三重県緑化推進協会専務理事
・三重県木材組合連合会専務理事
・三重大学名誉教授
・津市民　　の４名

１．平成１９年度第１回試験研究評価委員会

開催日：平成１９年９月１８日(火)　場所：林業研究部

内容：事前評価及び中間評価

１）　委員長選出

委員会運営内規に基づき､委員の互選により委員長に三重大学名誉教授が選出されました。

２）　評価対象課題

(事前)　管理不足林分への間伐が林内環境に及ぼす影響の解明に関する研究

(中間)　巻き枯らし間伐林における病虫害防除に関する研究

３）研究の評価

各課題とも、委員長の進行により研究担当者からプレゼンテーションを行い、質疑応答を含めて約４５分で行われました。評価方法内規に基づき、２０点満点で採点されました。平均点が１２点を下回るものについては、林業研究部長が研究課題の不採択、中止及び計画の変更等を決定することになります。

評価結果は、事前評価対象の「管理不足林分への間伐が林内環境に及ぼす影響の解明に関する研究」が 14～16 点で、平均 15.50 点、中間評価対象の「巻き枯らし間伐林における病虫害防除に関する研究」が 14～17 点で、平均 15.50 点となりました。

２．平成１９年度第２回試験研究評価委員会

開催日：平成２０年３月１２日(水)　場所：林業研究部

内容：事後評価

１）評価対象課題

(事後)　スギ、ヒノキ穿孔性害虫被害材の有効利用技術の開発事業

２）研究の評価

委員の評価結果は、16～18 点で、平均 17.25 点となりました。評価委員から、高い評価を受け、関係事業者や行政関係者へのＰＲ、教育に努力して欲しい。また、この問題は県産材全般に関わる課題であり、研究を発展させて欲しいという意見が出されました。